

土浦市立幼稚園の廃園の中止を求める陳情書

趣 旨

土浦市は、全ての市立幼稚園を平成 33 年までに廃止とし、「民間施設」などに移行させる方針と
のことです。ご承知のように、各幼稚園は地域に根付き、地域住民との交流を深め、地域に支えら
れている存在と言えます。

幼稚園は、学校教育法第一条に規定され、同第三章「幼稚園」で「幼稚園の目的」などを示して
おります。また、児童福祉法第二条は「国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心
身ともに健やかに育成する責任を負う」と、義務を課しています。

幼稚園と保育園は 3 歳から 5 歳までの同等の幼児教育を担って、遊びや生活から 5 領域(健康、人
間関係、環境、言葉、表現)を育成させております。なお、「保育所保育指針」も、5 領域を踏まえ、
「保育所は養護と教育を一体的に行うことを特性として、環境を通してこどもの保育を総合的に実
施する役割を担うとともに、保護者に対する支援を行う。」ことを明記しております。

このような法律などを踏まえ、特に精神的、身体的、言語的等の発達が遅れている児童を公平に
養育しております。このような障害を抱える子供達は民間での養育は困難な環境にあります。

児童のおかれている現場は 複雑化・困難化・多様化しており、「少子化」や「行財政改革」「効
率化」などの観点から計り知れないものがあります。

私達は「土浦市立幼稚園の廃園の中止を求める陳情書」を 6 月議会に、7,401 人分(受理は押印のあ
る 3,682 人分)を提出しました。このような保護者や地域住民の意向を踏まえ、改めて、陳情を行う
ものです。再検討を心から願っております。

陳情事項

一、土浦市立幼稚園の廃止を中止して頂きたい。

平成 28 年 11 月 29 日
